# 2019年度 消防職員コースのご案内

2018年6月末の在留外国人数は260万人を超え、過去最高となりました。また、住民の1割以上が外国人という集住地域もあります。さらには、2018年は初めて訪日外国人旅行者数が3,000万人を超え消防職員が外国人と接する機会も増えてきています。

この研修は、消防職員を対象に、非常時において、外国人の救援救助活動に迅速・的確に対応できるよう、外国人とのコミュニケーション能力の向上を図るとともに、そのために必要な知識や方法等を学ぶことを目的に開催します。

受講を希望される場合は、**2月12日（火）までに「2019年度JIAM年間派遣計画書」**をFAXによりお送りください。申込手続きの詳細は、「2019年度研修計画」をご参照ください。

## 消防職員コース～非常時における外国人とのコミュニケーション～

（ 日 程 ） 5月15日（水）～5月31日（金） 17日間

（ 内 容 ） ※予定
- 自治体の危機管理
- 非常時に備えた地域コミュニティとの関わり方
- 外国人住民からみた日本
- 自治体の事例紹介（外国人への情報提供等）
- 外国人観光客の状況
- 施策立案演習
- 語学研修
  - 共通：英語
  - 選択：中国語又はポルトガル語

（ 対 象 ） 消防職員（自治体の防災担当職員含む）

（ 受講経費 ） 概ね70,000円

（ 予定人数 ） 30名

グループワークの様子

## ■ コースの特長

○ 語学授業については、受講者の語学レベルに応じた少人数のクラス編成を行いますので、安心して学ぶことができます。

○ロールプレイを取り入れて、けがをした外国人に英語で様子を確認するなど、実際の状況を想定して再現することにより、生きた英語、使える英語が体得できます。

○第二外国語として、中国語とポルトガル語の２言語から、地域の事情に即した言語を選択し、それぞれの言語の基礎を学びます。

○ 講義や演習等を通して、全国各地の消防職員と意見交換をしながら、議論を深めることができます。

○ ＪＩＣＡ（国際協力機構）からの研修生を受け入れる際にも、このコースの修了者が活躍されています。

## ■ 参加者の声

○今回学んだことを生かして各種の訓練計画を立案し、2020年までに組織力を上げたいと思います。

○業務における外国人対応にあたって、すぐに現場に活用できるカリキュラムで自信がつきました。

**【問い合わせ先】（公財）全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 教務部**

**〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号（https://www.jiam.jp）電話（077）578−5932 FAX（077）578−5906**